

東近江市エコツーリズム推進全体構想について

1 背景および目的

東近江市は、滋賀県の南東部、湖東平野の中央に位置する。東西を流れる愛知川の上流域は、鈴鹿国定公園に指定されており、御池岳や御在所岳など市制 10 周年を記念して選定した鈴鹿 10 座や美しい渓谷などの自然に抱かれ、政所茶や木地物生産などの伝統を育んだ奥永源寺の山村風景が見られる。中流域は肥沃な扇状地に近畿最大の耕作地が広がり、近江商人が築いた街並み、歴史や文化、産業が受け継がれている。琵琶湖国定公園に指定される下流域では、琵琶湖や内湖が人々の生活を支える湖辺の暮らしが息づいている。このように、本市では、**森里川湖**（もりさとかわうみ）の自然とともに育まれてきた暮らしや生業など、人と自然の関係性の中でつくられてきた原風景を感じることができる。

しかし、その森里川湖の原風景は、人口の減少、超高齢化社会、生活様式や産業構造の変化などの影響を受け、地域の活力が低下することに伴い、将来、消滅するおそれがある。そこでエコツーリズムを強化し、この大切な原風景を将来世代に継承することを目的として、東近江市エコツーリズム推進全体構想を策定した。

2 概要

(1) 東近江市エコツーリズム推進全体構想を推進する地域

本市は、東の鈴鹿山脈から西の琵琶湖まで広がり、市内の中心部を愛知川や南西部には日野川が流れるなど森里川湖の原風景を感じられる地域である。しかし、いずれの地域も人口減少や高齢化が進み、生活様式や産業構造が変化し、農林水産業に関わる人が減少するなど原風景の継承が危ぶまれている。よって、人と自然、人と人のつながりを再生し、原風景を将来世代に継承するため、エコツーリズムを推進する地域は本市全域とする。

(2) 対象となる森里川湖の原風景を構成する主な自然観光資源

○ **森**の原風景を構成する地域資源

鈴鹿山脈：鈴鹿国定公園に指定されており、イヌワシやクマタカが生息している。山中には、交易に利用された街道が残り、林業遺産に認定された「木地師文化発祥の地小椋谷」、や日本遺産の構成要素である「永源寺と奥永源寺の山村風景」が見られる。

○ **里**の原風景を構成する地域資源

農地・里山・丘陵地・河辺林：愛知川の扇状地に近畿最大の農地が広がる。河辺林などの里山は、地域団体により保全され、ふるさといきものの里 100 選に選定されている。日本遺産の構成要素である「五個荘金堂の街並み」は、近江商人発祥の地でもある。

○ **川**の原風景を構成する地域資源

愛知川や日野川：愛知川は、全長約 63 キロメートルでイワナやオイカワ、カワムツなど多様な魚類が生息している。また、琵琶湖からはアユやビワマスの遡上も見られる。地域団体による「小さな自然再生」の取組がはじまっている。

○ **湖**の原風景を構成する地域資源

琵琶湖・伊庭内湖：日本最大の淡水湖琵琶湖や伊庭内湖の周辺に湖辺の暮らしが見られる。伊庭内湖は、ホンモロコやニゴロブナ、ゲンゴロウブナなどの貴重な産卵の場ともなっている。

(3) 東近江市エコツーリズム推進全体構想の実施方法

東近江市の森里川湖の原風景を次世代に継承するために以下の取組を進める。

- ① 認定エコツアー制度 全体構想の理念や方針を実現するために設定した 4 つの基本的な考え方に沿ったツアーをエコツアーとして認定し、質の高いツアーを実施する。
- ② エコツーリズムガイドの養成とガイド登録制度 森里川湖の原風景の魅力を引き出し、地域に精通するガイドを養成し、認定登録する。

(4) 東近江市エコツーリズム推進全体構想の推進体制

東近江市エコツーリズム推進協議会

アジア猛禽類ネットワーク・NPO 法人里山保全活動団体遊林会・NPO 法人愛のまちエコ倶楽部
一般社団法人東近江市観光協会・株式会社モンベル・鈴鹿 10 座エコツアーガイドクラブ
株式会社みんなの奥永源寺・SLYCE BASE CAMP・茶縁むすび・東近江レイル実行委員会
湖辺の郷伊庭景観保存会・永源寺地区まちづくり協議会・東近江市商工会・有限会社池田牧場
木地師のふるさと高松会・株式会社クレフィール湖東・近江ラベル株式会社・永源寺タクシー株式会社

3 主なエコツアーと活動写真

森のエリア 鈴鹿の森の原風景を活用したエコツアー



里のエリア 人と農業が織り成す農村の原風景を活用したエコツアー

川のエリア 愛知川の溪谷など清流の原風景を活用したエコツアー



湖のエリア 琵琶湖岸の水郷集落の原風景を活用したエコツアー